



『 世界保健デーにちなんで 』

世界保健機関（WHO）は「全ての人々が可能な最高の健康水準に到達すること」を目的として設立された国連の専門機関です。1948年4月7日の設立以来全世界の人々の健康を守るため、広範な活動をおこなっており、日本は1951年5月に加盟しました。WHOは設立記念日の4月7日に世界保健デーとして世界の人々の命や健康を守るため、各種のイベントを開催します。

世界全体に目をむけると、感染症は未だに死因の約1/4を占めておりマラリア、結核、AIDS等は発展途上国では大きな問題となっています。

我が国では今年4月7日に東京国際展示場にて「アフリカの健康、水、いのち」をテーマとしアフリカで取り組んでいる日本のNGO、企業、青年海外協力隊の活動をビデオや音楽などの映像を通して紹介されるイベントがあります。

世界保健デーにちなんで改めていのち・健康について考えてみてはいかがでしょうかでしょう。

4月7日



世界保健デー(WHO)

厚生連健康管理センター

保健師 柳田 章子